

ただいま卒業証書を授与致しました152名の卒業生の皆さん。
ご卒業おめでとうございます。本日はPTA会長稲葉真貴様はじめ
多数のご来賓のご臨席を賜り、第76回卒業証書授与式を挙げて
いただきますこと、大変喜ばしく思っております。

保護者の皆さま、お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。立派
に成長したお子様の姿をご覧になり、さぞ喜びもひとしおのことと
ご推察いたします。入学時はまだまだあどけない表情を残したお子
様たちでした。しかし、この3年間で驚くほどの成長と変化を遂げた
のではないかと考えています。それは、卒業アルバムの個人写真によ
く表れています。

近くの中学校ではなく遠い本校を選んできた皆さん。しかし、そ
の距離の分皆さんはたくましくなりました。体力も気力も精神力も
そして忍耐力も日本で一番の中学生に成長したと私は思っています。

本校の生徒は公立中学校の生徒より体も大きく、また、体育祭など
のレベルの高さは驚くべきものがあるそうです。日々の通学時間と
鞆の重さが知らず知らずのうちに皆さんを鍛えたのでしょうか。

さて、ではなぜ皆さんは本校を選んだのか、そこには本校を選ぶ明
確な意思と理由、求めるものがあつたとかからだと思います。静岡翔洋

であるなら自分の夢や希望を実現できるのではないか、あるいは、今は漠然としていてはっきりと見えなくても何か自分の将来の夢を見つめることができるのではないか、そう考えて選んだのではないのでしょうか。

約束された1000日の日を今日終えようとしています。皆さんにとってこの3年間は夢を見つけ希望をつかむことができた「人生で一番短い3年間」だったでしょうか。「頭にも、心にも、体にも汗かく青春」を送れましたか。「夢中って無敵、青春って忙しい」と実感できたとしたなら、充実した青春の日々を送れたということです。

しかし、そのような人であっても、時には挫折、失敗、葛藤、そのような苦しみを味わいながら、今日の日を迎えたのではないかと思います。けれども、それらを含めてすべてが皆さんの青春時代です。皆さんを形作ってきたものなのです。汗をかくということは、喜びも悲しみも挫折も成功もすべて引き受けて、自分の今後の生きていく上での糧にするということだと思います。

時代は混迷を深めています。世界は益々混とんとしており、争いは絶えず、貧困は拡大し、地球環境の好転は見られません。人類は少しも過去の歴史から学んでいないと残念に思う時もあります。

19世紀の最大の発明は自動車であると言われています。20世紀はコンピュータでしょう。21世紀はさらに進み、AIの登場は世界を私たちの暮らしをもっと劇的に変えていくはずです。それが果たして人類の幸福に寄与するものなのかは今の私にはわかりません。けれども、どんな時代が到来しようとも、未来を作っていくのは確実に皆さんであり、よりよい社会を作っていくという使命が皆さんにあることを忘れないでください。そしてその社会の根底には自由、平等、平和の三つの精神があるということをいつも心にとどめておいてほしいと思います。どんな時代になっても、己の幸福だけではなく他者の幸福も同時に実現する社会でなければ健全な社会とは言えないのです。その社会実現のためにこの3年間皆さんは多くの青春の汗をかいてきたと私は思います。

思春期と呼ばれる10代。皆さんは大人ではないが全く子供でもないという心身とも変化の激しい時代を過ごしてきました。そして、これからも思春期という不安定ですが素晴らしい青春という時代を生きていくのだと思います。

皆さんに聞きたいことがあります。今日皆さんの後ろに座って皆さんの後姿をじっと見つめている保護者、ご両親の方々の幸せとは

何だと思いますか。それはただ一つ、皆さんが幸せであることです。

それ以上のことを保護者の方、ご両親は望んでいません。ですから皆さんのなすべきことは、自分が幸せになる道を探すことなのです。

それが皆さんからの最高のプレゼントになるのです。自分が幸せになる道を探してください。しかし、幸せは向こうからやっては来ません。その幸せを手にするためには多くの努力と忍耐が求められます。時には挫折や悲しみも経験するでしょう。皆さんがこれから歩んでいく高校生活。どうか額に汗し、心に汗し、心折れそうな自分と闘い、様々な困難を乗り越えて突き進んでください。そして、後ろに座っておられる保護者の方、ご両親の愛は空よりも高く、海よりも深いのだということをいつまでも忘れないでください。

静岡翔洋からは永遠の姿をとどめる美しい富士が見えます。^{とわ}永遠にそびえ立つ富士のように皆さんの仲間と培ってきた友情もいつまでも続くことでしょう。翔洋生らしく雄々しく、自らの抱く希望に向かって歩みを進めてください。皆さんは若い、しかし年老いても希望に生きるものは常に若いのです。希望こそ生きる原動力です。素晴らしい人生の「門出」となることを祈念致しまして、「告辞」といたします。卒業おめでとう。